

「広報つきがた」最終号の発行に寄せて



月潟村長 金子 由征

村民の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。明治39年に秋津村・中合村・曲通村が合併し現在の月潟村が誕生いたしました。以来100年の長い間、幾多の困難を乗り越え、豊かな自然を守り、さまざまな文化を育みながら今日の発展を遂げて参りました。先人たちのたゆまぬ努力があり、今の豊かな月潟村があると確信しております。

来る3月21日、13市町村がひとつとなる新・新潟市は日本海側唯一の分権型「田園型政令指定都市」実現を目指しております。新市の一員となり月潟村の将来については、大きな期待とともに未知への不安もあると察しますが、一人ひとりが住みよい地域を目指し未来へ向かって一歩ずつ踏み出そうではありませんか。

昭和44年10月より発行してきた「広報つきがた」も今月号で最終号を迎えることになり、長い間行政と地域住民の皆様方とのパイプとなり親しまれてきました。今日まで広報を発行できたことは、村民の皆様のご理解、ご協力の賜と感謝申し上げます。今後は、毎週日曜日に新聞折込による「市報にいがた」が発行され、月潟地区を対象に「つきがた支所だより」も毎月1日に発行することになり地域情報を発信して参ります。

村民の皆様には「月潟村閉村記念誌」・「月潟支所ガイドブック」をお届けしましたので、ぜひご覧頂きたくお願い申し上げます。

長い間、ご指導、ご支援をいただいた村民の皆様にご心よりお礼申し上げますとともに、村民の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。長い間、大変ありがとうございました。

閉村にあたり



月潟村議会議長 和 平 晃

月潟村閉村にあたり議会を代表し、一言ご挨拶申し上げます。月潟村は、今からちょうど100年前の1906年、明治39年4月、当時の秋津村、中合村、曲通村の3村が合併し、本村が誕生しました。この間、七氏の歴代村長により地域住民の福祉の向上と、将来を担う子供たちの成長を願う数々の施策を執つて参りました。そして8代目村長である現金子村政のもと、安定した農産物を生産するための基盤整備、優しい心と健やかな成長を促すための保育園の改築、充実かつ生き生きとした学校生活を過ごすための中学校建設、村民の皆様がいつでも、どこでも、そして気軽に楽しめる生涯学習の場となる村民図書館の建設等、近隣市町村に勝るとも劣らぬ地域づくりができたものと今振り返り感じておるところであります。

しかし、パブルの崩壊による経済の失速や、地方分権の推進とともに市町村合併に大きく動きは傾き、現在に至った訳であります。ここに至るまで、議会はもちろん関係市町村との数々の議論が交し、住民の皆様方の貴重なご意見を伺いながら、2年後に政令指定都市を目指すとした新潟市との合併を英断したところであります。

これまで、この地域を心から愛し、そして見守り育ててこられた幾十万人の先人の方々、地域の皆様にお心より深く感謝を申し上げますとともに厚く御礼を申し上げます。

合併によりただ願うのは、地域のいやさかでございます。いままで育んでまいりました良き風土、風習を引き継ぎ、みどり豊かな環境を大切に、後世に伝えることが私共に課せられた最後の使命と思っております。

終わりに、長きにわたり村議会をご支援いただきましたことに厚く御礼を申し上げますとともに、村民皆様お一人一人の御健勝と御多幸を心からご記念申し上げます。

平成17年月潟小学校卒業生

6年1組

阿部 匡洋	五十嵐 千佳	五十嵐 隼	石津 拓実	伊藤 健太	江口 大樹	荻原 佑斗	小林 清貴	小林 真子	小林 愛実	小林 良和	小山 葉々恵	佐久間 萌佳	中山 礼奈	中松 優治	平松 優治	星野 花縫	間嶋 美沙希	宮川 大地	村松 大地	山田 美貴	和平 匡将
月 郷	西 郷	月 郷	上 郷	上 郷	東 郷	東 郷	上 郷	上 郷	大 郷	大 郷	大 郷	西 郷	西 郷	上 郷	上 郷	下 郷	下 郷	上 郷	上 郷	下 郷	下 郷
阿部 沙哉香	北 祐樹	児玉 美乃里	小湊 佳織	笹井 雄貴	真水 麻里奈	関根 梓	曾根 拓也	高柳 里子	高柳 美紗紀	高柳 美紗紀	瀧澤 寿樹	丹波 拓也	仲翔 太	樋浦 夏南子	藤村 将人	美濃川 光佑	山口 義生	山邊 雄亮	渡邊 雄亮	和平 健太	
西 郷	西 郷	上 郷	大 郷	月 郷	西 郷	西 郷	西 郷	西 郷	西 郷	西 郷	東 郷	東 郷	東 郷	東 郷	東 郷	東 郷	東 郷	東 郷	東 郷	東 郷	東 郷
阿部 郷	阿部 郷	北 郷	小湊 郷	笹井 郷	真水 郷	関根 郷	曾根 郷	高柳 郷	高柳 郷	高柳 郷	瀧澤 郷	丹波 郷	仲翔 郷	樋浦 郷	藤村 郷	美濃川 郷	山口 郷	山邊 郷	渡邊 郷	和平 郷	

6年2組

池田 亮輔	伊藤 翔	吉川 紀	高橋 元	登石 知	野内 敬	野内 平	野内 太	野内 太	野内 太	野内 太	野内 太	野内 太	野内 太	野内 太	野内 太	野内 太	野内 太	野内 太	野内 太	野内 太	野内 太
寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷
磯貝 誠	大谷 昭	木村 拓	齋藤 和	関本 啓	竹本 勝	丹波 良	弦巻 優	中川 裕	宮川 健	五十嵐 七	五十嵐 七	五十嵐 七	五十嵐 七	五十嵐 七	五十嵐 七	五十嵐 七	五十嵐 七	五十嵐 七	五十嵐 七	五十嵐 七	五十嵐 七
寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷	寄 郷
池田 郷	伊藤 郷	吉川 郷	高橋 郷	登石 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷	野内 郷

3年A組

3年B組

平成17年月潟中学校卒業生